

# 偽満州国（中国東北地方）とろう者

## —中間報告—

竹内 かおり

私の歴史学会発表としては一昨年（1998）夏に1ヶ月かけて中国東北地方を旅行して得たものを発表したい。

第二次世界大戦で広島・長崎で原爆を受け、被害国であると共に他国を侵略した加害国でもあった。私が学んだ歴史では被害国であること、日本は中国より強いと言うことであり、後日に歴史は歪められていることを知り、ショックを受けた。私にできることは何だろうか。中国へ行き、中国人民に戦争中の様子を伺って真実を肌で知りたいと思い、私は旅立った。

中国人では満州国を「偽満州国」と呼んでいる。私はあえて中国人同胞の気持ちを考えて今回は偽満州国と呼ばせていただいた。

### 2

1938年に傀儡国家満州国が出来、聾学校も建立された。

#### ・大連盲聾学校（大連市）

日本人が建立した。日本人街（大連市中山区解放路）にあったが、現在取り壊されている。口話法で教育されていた。

（調査進行中）

いつ建てたかはまだ把握していない。

#### ・満州国赤十字社新京聾学校（長春市）

日本人が建立されたかどうか、いつ建てたかは現在調査中  
口話法で教育されていた。

大連市に住んでいるろう老人にインタビューした。

60代のおじいさん

76歳のおじいさん

日本手話の影響

・長春市の方が少し影響があったかもしれないが、（似ている手話が今も残っている）今の段階では言い切れない。今後調査していく必要がある。

聾学校の教師

・教師の何人かが日本のどの聾学校からきたかは把握できたが、配属先が大連か新京かは今の所、不明